

# 平成17年度 定期作況報告

(9月20日現在)

北海道立中央農業試験場

# 水稻の部

水田農業科 (岩見沢市)

## 気象概況

8月下旬：平均気温は平年より0.7 高く、降水量は平年比257%、日照時間は平年比115%であり、多雨・多照に経過した。

9月上旬：9月7日に台風14号が接近した。平均気温は平年と同じで、降水量は252%、日照時間は平年と同じであり、多雨に経過した。

9月中旬：平均気温は平年より1.6 高く、降水量は平年比71%、日照時間は平年比107%で、高温・多照に経過した。

以上、1ヶ月を通じ平均気温は平年より0.8 高く、降水量は平年比197%、日照時間は平年比107%であり、多雨に経過した。

8月下旬～9月中旬気象表

項目	8月下旬			9月上旬			9月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温( )	21.1	20.4	0.7	19.1	19.1	0.0	18.4	16.8	1.6	19.6	18.8	0.8
最高気温( )	25.4	24.3	1.1	24.1	23.4	0.7	22.7	21.2	1.5	24.1	23.0	1.1
最低気温( )	16.9	16.4	0.5	14.2	14.8	0.6	14.1	12.5	1.6	15.1	14.6	0.5
降水量(mm)	152.0	59.2	92.8	81.0	32.1	48.9	30.0	42.0	12.0	263.0	133.3	129.7
日照時間(hr)	61.7	53.5	8.2	54.5	54.6	0.1	53.9	50.6	3.3	170.1	158.7	11.4

注)データは「アメダス岩見沢」を使用。平年値は平成7年～16年10ヶ年平均値を農試が算出し使用。

最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

## 作 況

水稻 作況：やや良

事由：出穂期以降は気候に恵まれたが、9月7日に台風14号が接近し、強風と大雨に見舞われた。その結果、試験区の一部で倒伏したものの被害程度は小さく、登熟は順調に進んだ。

成熟期は「きらら397」が9月20日で平年並、「ほしのゆめ」が9月18日で平年より1日早かった。登熟日数は両品種ともほぼ平年並であった。

以上、一部倒伏したものの穂数が平年より多く収量は見込めるため、現在の作況は「やや良」である。

品種名	栽培方法	成熟期(月.日)			登熟日数(日)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	中苗 紙筒	9.20	9.20	0	48	49	1
ほしのゆめ	中苗 紙筒	9.18	9.19	1	49	48	1
ななつぼし	成苗ポット	9.17	-	-	49	-	-

品種名	栽培方法	稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/m <sup>2</sup> )		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
きらら397	中苗 紙筒	65.5	60.7	4.8	15.3	16.4	1.1	864	610	254
ほしのゆめ	中苗 紙筒	66.5	64.9	1.6	15.5	15.7	0.2	816	645	171
ななつぼし	成苗ポット	66.4	-	-	16.7	-	-	708	-	-

注1)平年値は前7ヶ年中、平成16年(最豊)、15年(最凶)を除く5ヶ年平均

注2)本年より従来の奨励品種決定調査圃場(グライ土)から系統養成圃場(グライ土)に移動した。

注3)耕種概要

土 壤 細粒グライ土  
 施 肥 高度化成472全層施肥 N - P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=8.0-9.7-6.9 kg/10a 堆肥1,500kg/10a  
 播 種 量 中苗紙筒=180cc/箱 成苗ポット=35g/箱 移植方法 手植え  
 栽 植 密 度 30×13.3cm 25株/m<sup>2</sup> 4本植え 反 復 :2

# 畑作の部

畑作科 (長沼町)

## 気象概況

8月下旬：気温は前期に引き続き高く推移した。21日から22日にかけて144.5mmと多量の降雨があり、降水量は平年の3倍以上となった。日照時間はほぼ平年並みであった。

9月上旬：気温は、最低気温がやや低くなったものの、引き続き平均気温は平年よりやや高く経過した。7日から8日にかけて、台風14号の接近により82.5mmの降雨と最大瞬間風速18.2m/sの強風にみまわれ、降水量は平年の2倍以上となった。日照時間は平年より少なかった。

9月中旬：気温は引き続き高く経過した。降水量は平年のほぼ半分と少なく、日照時間は平年よりやや多かった。

以上、1ヶ月を通じて、気温は高く、降水量は平年の2倍以上とかなり多く、日照時間は平年並みであった。

8月下旬～9月中旬気象表

項目	8月下旬			9月上旬			9月中旬			平均(合計)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温(℃)	21.3	20.1	1.2	19.5	19.0	0.5	18.6	17.0	1.6	19.8	18.7	1.1
最高気温(℃)	25.6	24.1	1.5	24.4	23.4	1.0	22.9	21.4	1.5	24.3	23.0	1.3
最低気温(℃)	17.4	16.6	0.8	14.4	15.1	0.7	14.2	12.5	1.7	15.3	14.7	0.6
降水量(mm)	177.0	52.5	124.5	82.5	35.2	47.3	21.5	41.5	20.0	281.0	129.2	151.8
降水日数(日)	5.0	4.6	0.4	2.0	4.3	2.3	2.0	3.7	1.7	9.0	12.6	3.6
日照時間(hr)	53.1	46.4	6.7	37.7	51.1	13.4	52.3	46.7	5.6	143.1	144.2	1.1

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は平成7年～16年の確定値を10年間農試で平均し、本年値は平成17年の速報値を用いた。

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

## 作況

### 1. 秋まき小麦(平成17年播種) 作況：平年並

事由：播種は平年に比べ2日遅い9月15日に行なった。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名	播種期(月.日)			出芽期(月.日)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ホクシン	9.15	9.13	2	-	9.21	-
ホロシリコムギ	9.15	9.13	2	-	9.21	-

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均(各収穫年度)。

### 2. 大豆 作況：平年並

事由：前月に引き続き気温は高めに経過し登熟は順調で早く進んでいる。中生の「ツルムスメ」では主茎長、主茎節数ともに平年を下回ったものの、分枝数はやや多く、着莢数は平年を9%上回っている。晩生の「ユウヅル」では主茎長は平年を上回ったものの、主茎節数、分枝数は少なく、着莢数は平年を10%下回っている。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名	主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)			着莢数(莢/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
ツルムスメ	52.9	56.5	3.6	11.6	12.6	1.0	7.0	6.1	0.9	56.7	51.9	4.8
ユウヅル	85.5	80.8	4.7	15.0	15.8	0.8	4.0	4.8	0.8	52.1	57.8	5.7
トヨムスメ(参考)	60.4	62.0	1.6	10.1	10.1	0.0	6.9	6.5	0.4	72.1	69.6	2.5
スズマル(参考)	59.9	75.8	15.9	12.8	14.6	1.8	9.9	10.7	0.8	114.6	127.3	12.7

注)平年値は前7か年中、平成14年(最凶)、16年(最豊)を除く5か年平均。

ただし、トヨムスメ スズマルは、前4か年の平均を平年とし参考値を示す。

### 3. 小豆 作況：やや不良

事由：前月に引き続き気温が高めに推移したため、成熟期は平年より3日早かった。主茎長および主茎節数は平年を上回り、着莢数は平年より多いが、一莢内粒数は平年をかなり下回っている。また、登熟期間の短縮により、百粒重は平年を下回ることが予想される。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名	成熟期(月日)			主茎長(cm)			主茎節数(節)			分枝数(本/株)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリシヨズ	9.05	9.08	3	66	56	10	14.2	12.0	2.2	3.7	3.5	0.2

品種名	着莢数(莢/株)			一莢内粒数(粒)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較
エリシヨズ	51.2	46.7	4.5	5.60	6.57	0.97

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、15年(最豊)を除く5か年平均。

#### 4. ばれいしょ 作況：やや良

事由：8月上旬から収穫期まで著しい高温・多照と多雨で経過した。このため、塊茎肥大とでん粉蓄積はやや緩慢に進み、茎葉枯凋開始後に地上部が再生する二次生長も見られた。枯凋期は9月2日で平年より14日遅く、上いも1個重は平年並みであったが、上いも数は平年比121%と平年より多かった。上いも重は5,107kg/10aで平年比123%と平年を上回ったが、でん粉価は14.2%と平年をやや下回った。以上により、本年の作況はやや良である。

品種名	枯凋期(月.日)			上いも数(個/株)			上いも一個重(g)			でん粉価(%)		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
男爵薯	9.02	8.19	14	14.6	12.1	2.5	79	79	0	14.2	14.8	0.6

品種名	上いも重(kg/10a)				中以上いも重(kg/10a)			
	本年	平年	比較	平年対比(%)	本年	平年	比較	平年対比(%)
男爵薯	5,107	4,158	949	123	4,067	3,300	767	123

注)平年値は前7か年中、平成11年(最凶)、13年(最豊)を除く5か年平均。

「上いも」は21g以上、「中以上いも」は61g以上のいもである。

#### 5. てんさい 作況：平年並

事由：今期の気象は、概ね高温・多雨と平年並の日照時間で経過した。このため、地上部の生育はやや軟弱徒長気味で、根部の肥大はやや緩慢となっている。現在の草丈は平年比112%、葉数は平年比114%と平年を上回っているが、根周は平年比98%と平年を僅かに下回っている。また、褐斑病の発生は9月中旬頃から僅かに認められるようになった程度である。

以上により、現在の作況は平年並である。

栽培法	品種名	草丈(cm)			葉数(枚)			根周(cm)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
移植	モノホマレ	70.5	63.2	7.3	36.5	31.9	4.6	34.1	34.8	0.7

注)平年値は前7か年中、平成12年(最凶)、16年(最豊)を除く5か年平均。

#### 6. 中央農試作況報告について

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。当報告は、中央農業試験場のほ場において行った生育調査について、調査時点における値を中央農業試験場の平年値と比較したものであり、当該管内の作況を代表するものではありません。